

第753特殊作戦航空機整備中隊から第21特殊作戦航空機整備中隊に 名称変更で発足式典を挙行

753rd SOAMXS holds redesignation ceremony

June 26, 2024

By Yasuo Osakabe
374th Airlift Wing Public Affairs

横田基地で6月21日、第753特殊作戦航空機整備中隊を第21特殊作戦航空機整備中隊に名称変更する式典が執り行われた。

この名称変更は、空軍特殊作戦軍の戦略的ビジョンと作戦上の必要に合わせ、第21特殊作戦航空機整備中隊という一つの部隊へ転換したことを記念するものである。

第21特殊作戦航空機整備中隊司令エリック・クランフォード中佐は「第21特殊作戦中隊と同じ番号の部隊の傘下に入ることは名誉なことであり、団結、結束、共同任務を成功させる注力を明確にするものである」と語った。

第21特殊作戦航空機整備中隊は、昼夜・天候を問わず、敵地への低空飛行侵入を行う第21特殊作戦中隊のCV-22オスプレイを機動させ、特殊作戦部隊の潜入、撤退、補給、火力支援を提供する。

クランフォード中佐は「第21特殊作戦中隊の運用上のカウンターパートとのかつてないタイアップを強調したい。スムーズな連携により、精度と効率を上げて任務を遂行できることを約束する」と述べた。

空軍は2019年7月1日、横田基地に第753特殊作戦航空機整備中隊を発足した。以降、同中隊はタイのコブラゴールド、日本のキーンソード、フィリピンのバリカタンの演習にも参加した。

今回の変更は、任務の領域により良く空兵を配置することを目的としている。空兵が精鋭の整備士として成長し、安全で信頼性のある航空機を供給し、特殊作戦任務を遂行する準備を整えるのが狙いである。

クランフォード中佐は「第21特殊作戦中隊として、『ハードウェアよりも人が重要である』という特殊作戦部隊の理念を心に留め、これからも成功していく。そのために、空兵の成長に投資し、最高の訓練と資源を提供し、あらゆる支援を提供していく」と述べた。

このたびの部隊名称の変更は、空軍特殊作戦軍が今日の複雑な国家安全保障環境に対応し、多眼的で、多層的なアプローチを要する課題に対処するための一つの道筋である。

